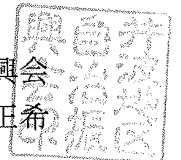


平成23年4月4日

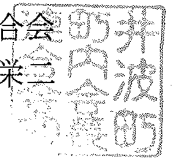
要 望 書

南砺市長 田中 幹夫 様

井波地区自治振興会
会 長 横川 正希



井波町内会長連合会
会 長 高桑 栄三



桜の便りが聞かれる頃となりました。

日夜、南砺市発展の為にご努力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

私共は、平成21年から『まちづくりを語る会』を創設し、現在まで2年間に渡り井波地区の素晴らしい面・改善すべき面を抽出し、将来の井波像について意見集約を図ってきました。

平成23年度の実施計画として、過去集約した項目の中から自らが実行可能な項目を取り上げて、行動を開始し、実績の上積み展開を図ることを考えています。

そんな中、“みんなが誇りに思うまちづくり”そして“井波に住む人々の生活向上”に焦点を絞り、次のとおり要望をいたします。

1. 魅力ある観光地への対応
2. 安全・安心への対応
3. 交通アクセスの充実
4. 都市計画道路 谷・今町線について
5. 融雪に関する問題
6. 情報化時代への対応
7. 井波高校跡地の問題

4/4 転付心



(詳細につきましては別紙参照下さい)



(別紙)

井波まちづくりに関する要望

1. 魅力ある観光地への対応

木彫りと信仰の町をキャッチフレーズとして、今日まで全国に井波を PR してまいりました。根幹となる瑞泉寺及び木彫刻をより一層印象付けるため、次のハード面でのインフラ整備を要望するものであります。

- 土木課** ① 八日町通りの無電柱化と石畳の前面改修
- 土木課** ② 瑞泉寺周辺に位置する市道や小道の石畳化と消雪装置設置
- 井波文セ** ③ 隔年で実施されています「国際木彫刻キャンプ作品」のより効果的な配置と管理
- ④ 閑乗寺公園から望む井波地域を含んだ原風景「散居村」の価値見直し
- 土木課**・市道坂下線への観光バス乗り入れが可能な道路整備
- 土木課**・市道坂下線沿いの桜の管理（枝打ち、防腐処理など）
- 農政課** ⑤ 井波地域の食材をふんだんに取り入れた新料理の開発（グルメ開発）
- 観光課** ⑥ 井波を訪れる方達や井波地区住民が挙って集まる飲食店街や土産品街更には伝統産
- 商工課** 業品の展示販売施設エリアの構築と支援

2. 安全・安心への対応

田中市政スタート時から提唱されております「安全・安心」の面から要望させていただきます。

砺波インター及び福光インターに続き、南砺市では福野スマートインターの早期着工と城端スマートインターの実現に向け着実な歩みがされています。今後、井波地区への訪問者数は増加の一途を辿ものと考えております。

そのための強化策として、井波地区への誘導施設設置と駐車スペース等一層の効率的運用、並びに通行量増加に伴う人身を巻き込む車輛事故の増加防止施設の完備について、ご高配をお願いいたします。

- 土木課** ① 砺波インター及び福光インターから井波への誘導看板の設置
- 土木課** ② 東海北陸道福野スマートインター設置に伴う誘導看板設置計画
- 観光課・商工課** ③ まちづくり交付金事業による「駐車場整備計画（よいとこ井波裏）」の実施
- 住民環境課** ④ 県道、市道交差点に位置する交通広場へ出入りする人々の通行と観光バスや一般車両の通行によって生じる事故防止の為の井波の風土に合致した信号機の設置
- 住民環境課** ⑤ 井波中央交差点が見通しが困難なことに伴う交通信号の設置

3. 交通アクセスの充実

既存の公共及び民間運営による近隣人口集中都市への移動は、ある程度確保されていますが、南砺市成立後、今まで以上に近親意識が強まりました都市へのアクセス強化と、県西部の中心都市への通勤通学に関する限定路線の編成について、御検討賜りたく要望いたします。

住民環境課① 市運営バスの井波～金沢間の運行編成

住民環境課② 井波及び福野地区沿線住民の通勤・通学に寄与する高岡市、富山市方面に向けてのコミュニティバスの運行編成

・JR城端線の福野発時間に対応した井波～福野間のコミュニティバス運行編成

土木課③ 南砺市の地域間を結ぶ主要県道の拡幅改良の促進

4. 都市計画道路谷今町線について

現在、市直轄区間と県直轄区間に分け、着工に向けて計画進行中ではありますが、両区間の同時着工に向けて御尽力賜りますよう要望するものであります。

着実に進捗しております市直轄区間（片路線）のみの完成による通行となつては、谷今町線の防災道路としての位置付けに支障をきたすことは必至であり、内環状線としての面から捉えても経済効果や環境面等々不具合を生じると考えます。

また、本都市計画道路構築に伴い、従来の不具合を感じて我慢を強いられた生活環境から逃れ、新天地での新たな生活確保として、住み慣れた地区（町内）を離れる方々に対する定住対策を早急に実施していただきたいと考えます。

現在を生きる世代のみに安住の地を提供するのでは無く、明日を見据えた対策を講じていただきたく、要望します。

都市計画課① 県直轄区間の早期着手を富山県へ要請

都市計画課② 若い世代も、この地に定住していただくことを踏まえた移転対象者向け及び地区内に住まいする方々が快適且つ安心して移住できる住宅地及び団地等の造成

総務課③ 防火防災対策の確実な推進（消防専用管の埋設、立ち上り消火栓の設置）

5. 融雪に関する問題

今冬は、例年に無い大雪であり、消雪、流雪、機械除雪等に関する対策として種々対応されておりますことに対し、感謝するところであります。

南砺市は年々高齢化と核家族化が進んでいます。併せて、市街地の空洞化も一段と進み、今日までの対応では、将来、無理が生じてくると考えます。時代に即応可能な雪に関する施設整備や対応をお願いしたく、要望いたします。

土木課① 貯水槽タンクの増設

- ・ 貯水量の使用時間の延長

土木課② 貯水槽タンク増設に伴う南砺山麓用水路からの水量確保

- ・ 水利権の拡大と確保

土木課③ 消融流雪利用水の再利用

- ・ 下流地域における消融流雪水の再利用による消融流雪施設構築

土木課④ 既存流雪溝の通水システムの再見直し

- ・ 溢流防止の為に路線再見直し
- ・ 既存流雪施設の機能の再見直し（流雪バルブの管理検討）

6. 情報化時代への対応

旧来の井波のキャッチフレーズは「木彫りと信仰町」であります、しかし、これからの地区を支える若い世代にとっては、何かしら物足りなさを感じさせる感があります。

そこで、時流に沿ったものを取り上げて、都会に行かずとも井波にあって生活可能な環境を提供していただきたく、ここに要望いたします。

① 光ファイバー等を導入した生活環境整備

企業誘致推進室・若い世代が定着し、永続的に地域を支えていく企業の誘致推進

② 若者が集って情報交換を行える施設整備

市民協働課・新規及び既存施設も含んで「若人の家」的施設の構築

7. 井波高校跡地の問題

平成24年3月をもって閉校となります井波高校は、現在市民病院の増棟工事もスタートし、ある程度の有効利用が計画されています。

しかし、高校設立当時の用地提供に端を発した状況を考えますと、寂しいものを感じます。病院に近接する施設として閉校後も、何らかの有効利用を図っていただきますよう地域住民の切なる思いが存在することを理解いただき、ここに有効活用策を図っていただくことを要望いたします。

医療局① グランド一部を市民病院増改築用地として決定され、工事が始まろうとしていますことは、既に公事であり感謝するところであります。ますます、市民病院の利用者増となり、地域医療に密着した施設に変貌することを望んでおります。

教育総務課② 残りの跡地利用につきましては、検討中の状況若しくは計画案策定済かは、公表対象となっておりません。今後の方向付けを享受いただきたいと考えます。

以上

井波地区自治振興会
会長 横川 正希

井波町内会長連合会
会長 高桑 栄二